

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
保健看護学概論	3年次	必修	講義	1単位（15時間）	相田 武則 ※
授 業 概 要					
QOLの向上を目指した保健看護の実際について学ぶ。予防医学、多職種連携やチーム医療は、現在の医療実践に欠かすことのできない事項である。また、臨床検査技師の活動に生かすことができる地域医療や在宅医療について学習する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・母性、成人及び老年における看護が理解できる。 ・疾病予防とヘルスプロモーションについて理解できる。 ・現在医療における多職種連携とチーム医療における必要性を理解できる。 ・在宅医療をはじめとする保健看護の活動について理解できる。 					
実務経験のある教員					
相田武則、木田洋子：病院での臨床経験を踏まえ担当科目を概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	母性、成人及び老年における保健看護の実際				相田 武則 ※
2	衛生行政と保健医療制度、社会保健と社会福祉				
3	健康づくりと疾病予防の取組みとヘルスプロモーション				木田 洋子 ※
4	多職種連携とチーム医療				
5	保健看護の活動1：在宅医療				
6	保健看護の活動2：学校保健活動				
7	保健看護の活動3：精神保健と産業衛生				
8	地域包括ケアシステムと地域アセスメント				
学 習 方 法					
双方向の講義を行うため、積極的に講義に臨むこと。					
評 価 方 法					
レポート課題の提出により評価する。					
先 修 科 目					
基礎分野、専門基礎分野及び専門分野のうち、1年次及び2年次に配当されているすべての必修科目					
教科書、参考書					
配付資料を用いて講義を行う。 〔参考書〕 公衆衛生看護学概論 （著者：標美奈子 出版：医学書院） 臨床検査技師のためのチーム医療教本 （監修：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 出版：じほう）					